



平成19年9月 マンスリー レポート

集計企業数 60 社

売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	36,670,945 万円	100.0%	104.3%(103.6%)	34,758,955 万円	101.7%(100.6%)
食 料 品	30,316,332 万円	82.7%(81.8%)	105.0%(103.9%)	28,927,438 万円	102.5%(101.0%)
農 産	4,560,418 万円	12.4%(12.3%)	104.5%(103.0%)	4,347,969 万円	101.8%(100.2%)
水 産	3,204,404 万円	8.7%(8.4%)	101.7%(100.2%)	3,071,686 万円	99.4%(97.7%)
畜 産	3,351,498 万円	9.1%(8.6%)	104.7%(103.3%)	3,193,036 万円	102.0%(100.3%)
惣 菜	3,075,656 万円	8.4%(8.5%)	106.9%(104.9%)	2,832,344 万円	103.9%(101.7%)
日配食品	6,995,831 万円	19.1%(18.3%)	104.6%(103.8%)	6,675,029 万円	102.0%(100.9%)
加工食品	9,128,525 万円	24.9%(25.6%)	106.3%(105.6%)	8,807,374 万円	104.0%(102.7%)
生活関連	2,882,104 万円	7.9%(8.0%)	102.2%(101.4%)	2,750,095 万円	100.0%(99.2%)
衣 料 品	1,404,311 万円	3.8%(4.3%)	93.9%(99.2%)	1,310,936 万円	92.7%(97.8%)
そ の 他	2,068,198 万円	5.6%(6.0%)	105.0%(106.4%)	1,770,487 万円	98.7%(97.9%)

数 値

全店総売上高	36,670,944 万円	店 舗 数	3,405 店舗
総売場面積	5,921,628.6 m ²	総従業員数	176,901 人

店舗平均月商	10,769.7 万円	平均客単価	1,866.8 円
月間m ² 売上(前月)	6.2 万円(6.5 万円)	平均店舗面積	1,739.1 m ²
月間坪売上(前月)	20.5 万円(21.5 万円)	パート比率(前月)	75.9%(76.3%)

注) 総従業員数...パート・アルバイト数は、8時間換算しています

全体概況

- ・ 残暑厳しく気温の高い日が続き、秋物商品の動きが鈍かった。また、夏物商品が月末までニーズがあり、レイアウト変更に苦慮した月であった
- ・ 前年よりも日曜日が1回多く、なおかつ3連休が2回あったことなどから、既存店昨比を上回った企業が多い。しかしながら、食品の値上げ要請やオーバーストアなどによる価格競争はさらに激しさを増しており、予断を許さない状況が続いている

商品動向

農産

- ・ 気温が高かったことから、トマトやレタスなどのサラダ商材が好調に推移した
- ・ 逆に、季節商品のきのこ類や煮物、鍋物商材が不振となった
- ・ 果物については、旬の梨やりんご、ぶどうが好調に推移した

水産

- ・ 気温が高かったことから、塩鮭、うなぎが好調に売上を伸ばした
- ・ 生魚については、旬のさんまが豊漁であったことから品質も良く、価格も安いことから好調に推移した。しかしながら、戻りかつおについては不振となった

畜産

- ・ 通常であればすき焼きを売り込む時期ではあったが、連休中を中心に焼肉商材が好調に推移した
- ・ また気温の影響から、加工品ではハム類やウインナー類が好調に推移した
- ・ 豚肉については、相場高が続いており、販促も思うようにできず利益も確保しづらい状況が続いている

惣菜

- ・ 惣菜部門では、残暑の影響はあるものの、季節感を先取りした松茸ご飯やカキフライなど、旬を意識した商品が好調に推移した。また、品質の良いさんまが出回ったことから、さんまの塩焼きや立田揚げも好調に推移した
- ・ 先月に続き、サラダ類が好調に推移した。特にポテトサラダが好調であった

日配・加工食品

- ・ 日配食品では残暑が厳しかったことから、豆腐やアイス・飲料が好調に推移した。しかしながら、牛乳については引き続きの不振となる
- ・ 練り物に関しては、おでんが不調だったものの、カニ風味かまぼこやちくわなどの夏物商材が好調に推移した
- ・ 年々8月中旬より展開をしている中華まんは気温の影響を受け厳しかったものの、炊き込みご飯の素については好調に推移した
- ・ 加工食品においても、気温の影響を受け乾麺やめんつゆ、飲料などの夏物商材が好調に推移した
- ・ 新米については、比較的好調に推移している

その他

～お彼岸商戦について～

- ・ 刺身や寿司は簡便ニーズもあり好調に推移した
- ・ 花きについては、彼岸の中日が週末にあたったことから、前年比110%以上の伸びをしめしたところが多かった
- ・ おはぎやお供え団子、らくがんについては、ほぼ前年並みの状況
- ・ 酒類については気温の影響から、ビール類は好調に推移するも、清酒については厳しい状況であった

～秋物商材の動向について～

- ・ 残暑が厳しくホットメニュー商材については不振となったものの、果物や鮮魚、惣菜を中心に旬商品は好調に推移した
- ・ 秋のレイアウト変更については、変更時期を遅らせるなど対応に苦慮した
- ・ 果物では、水分の多い商品が好調であり、特に梨と巨峰が好調に推移した
- ・ 栗については、加工品人気の影響から不振となった
- ・ 水産部門では、さんまが相場も安く品質も良いことから好調であった。また、秋鮭についても好調に推移した
- ・ 惣菜部門では、松茸ご飯やカキフライが好調であった
- ・ おでん商材や中華まんについては、気温の影響から全くの不振。特に中華まんについては中国産製品の問題が追い打ちをかけている

～秋のレイアウト変更のおすすめ商品について～

<日配食品>

- ・ ヨーグルトでは、明治ブルガリアそのままヨーグルト、ブルガリアフルーツミックスヨーグルト
- ・ 冷凍食品では、日清フーズパスタ各種、ニチレイ蔵王山麓グラタンドリア
- ・ 中華まんでは、味にこだわったチルド商品

<加工食品>

- ・ ホットメニューでは、ハウススープ de おこげ、ビストロシェフポークシチュー、クノールカップスープ栗かぼちゃのポタージュ、永谷園カレー鍋

<菓子>

- ・ 明治北海道チョコポテト、ブルモンミニシルベーン、コイケヤ減塩ポテトチップス

全体的に健康志向商品およびこだわり商品の品揃えが拡大傾向にある

以上